

静電噴霧ハイスリッド噴口

雷電

型式：ES1210-LT
：ES910-LT

取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書には安全に使用していただくための要点を記してありますので、ご使用前に必ずよくお読みになり正しくご使用ください。お読みになった後は、いつでも読める場所に保管してください。

また、本書を汚損したり紛失した場合はお買い上げの販売店にご注文いただき、大切に保管してください。

— 目次 —

①安全のために必ずお守りください	1
②用途・製品の特徴	1
③仕様	1
④噴口からの距離による、葉裏面への付着度の違い	2
⑤梱包部品一覧及び各部名称	3
⑥使用方法	3
⑦使用後のお手入れと保管	1 1
⑧噴板・ノズルコアの交換	1 2
⑨故障と対策	1 2
⑩パーツリスト	1 3

 株式会社 麻場

〒381-8530 長野県長野市北長池 1443-2

Tel.026(244)1317

<http://www.asaba-mfg.co.jp>

本書に記載した ⚠ の表示のある注意事項や機械に貼られた ⚠ の表示のあるラベルは、人身事故等の危険が考えられる重要な項目です。よくお読みになり必ずお守りください。
 なお、⚠ の表示のあるラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店にご注文いただき必ず所定の位置にお貼りください。

- ⚠ 危険・・・その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになります。
- ⚠ 警告・・・その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があります。
- ⚠ 注意・・・その警告文に従わなかった場合、けがを負う恐れがあります。

また、製品の故障や損傷につながる使い方に関する注意事項については取扱説明書、機械に貼られたラベルともに、**重要** の表示を用いています。

1 ⚠ 安全のために必ずお守りください

⚠ 警告 ・心臓ペースメーカーやICD（植込み型除細動器）が誤作動を起こす可能性がありますので、ペースメーカー等をご使用の方は絶対に使用しないでください。また本製品使用中に近づかないでください。

2 用途・製品の特徴

- ・果樹、野菜、花、庭木などの消毒にお使いください。
- ・静電気を帯びた霧が発生し、静電気力により作物への付着性能が向上します。
- ・従来の農薬を従来の希釈倍率にてお使い頂けます。
- ・軽量設計されていますので扱いやすくなっています。
- ・手元の握りを回すことにより、広角～直射まで噴角調整が出来ますので遠近の調節散布が簡単に行え、色々な作物に使用できます。
- ・先端に角度がついており、またエルボ部分で首振り可能なため、立体作物や葉裏等の散布が楽に出来ます。
- ・付属のワンタッチジョイントにより、調節用の握りを回転させても吐出ホースがねじれることはありません。
- ・3種類の噴板と2種類のノズルコアが標準で付属（各1個は組み付け）されていますので、用途に合わせてお選びいただけます。
- ・内部はシンプルで詰まりにくい構造になっており、また詰まった場合でも分解、整備を容易に行う事ができます。

3 仕様

型式	全長 (mm)	質量 (kg)	耐圧力 (MPa)	取付ネジ
ES1210-LT	1270	本体：1.1 電池ケース：0.35	4.9 (50kgf/cm ²)	G1/4
ES910-LT	970	本体：1.0 電池ケース：0.35		

噴 口 性 能

※下記以外の組み合わせでは使用しないでください。

噴板穴径	ノズルコア	圧力 (MPa)	吐出量 (L/min)			噴角 (°) 2.0MPa時	到達距離 (m) 2.0MPa時：直射 (無風状態)
			1.5 (15Kgf/cm ²)	2.0 (20Kgf/cm ²)	2.5 (25Kgf/cm ²)		
φ 1.5 (標準)	小(メッキ付) (標準)	噴霧開	2.0	2.3	2.5	10~75	7.5
		噴霧直	4.5	5.0	5.8		
	大(メッキ無)	噴霧開	3.0	3.4	3.9	10~60	7.5
		噴霧直	4.5	5.0	5.8		
φ 1.0 (付属品)	小(メッキ付)	噴霧開	1.4	1.5	1.7	5~55	6.0
		噴霧直	2.4	2.7	3.1		
φ 2.0 (付属品)	大(メッキ無)	噴霧開	4.1	4.7	5.2	15~65	7.8
		噴霧直	7.6	8.7	9.9		
使用電源	単3乾電池 4本 (アルカリ)						

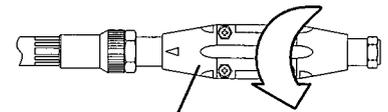
※吐出量は当社テスト値であり、保証値ではありません。使用環境によりその値は変化します。
 ※改良のため予告なく仕様を変更する場合があります。

4 噴口からの距離による、葉裏面への付着度の違い

噴板φ1.5 ノズルコア小 (メッキ付)

用途：立体作物、ハウス内での高設栽培のイチゴ、花卉等

開からサブグリッブを 回す角度	噴角 (°)	噴口からの距離 (m)					
		1	2	3	4	5	6
0° (開・中空円錐)	75	◎	○	○	×	×	×
90° (中実円錐)	65	○	○	○	○	△	×
180° (中実円錐)	30	◎	◎	◎	○	△	△
270° (中実円錐)	15	◎	◎	◎	○	△	△
360° (中実円錐)	10	◎	◎	◎	○	△	△
450° (直)	10	◎	◎	◎	○	△	△



サブグリッブ

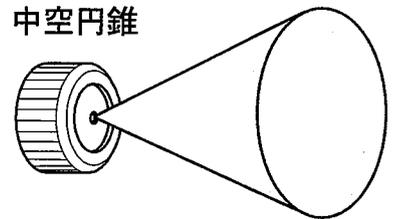
- ◎：非常に良い
- ：良い
- △：やや良い
- ×：悪い

噴板φ1.5 ノズルコア大 (メッキ無)

用途：立体作物、土耕栽培のイチゴ、花卉等

開からサブグリッブを 回す角度	噴角 (°)	噴口からの距離 (m)					
		1	2	3	4	5	6
0° (開・中空円錐)	60	◎	○	○	○	△	×
90° (中実円錐)	50	◎	○	○	○	△	×
180° (中実円錐)	40	○	◎	○	△	△	×
270° (中実円錐)	20	◎	◎	◎	○	△	△
360° (中実円錐)	15	◎	◎	◎	○	○	△
450° (直)	10	◎	◎	◎	○	○	△

中空円錐

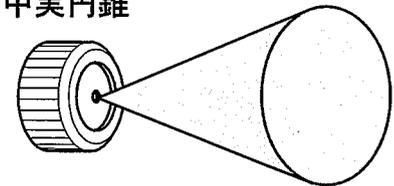


噴板φ1.0 ノズルコア小 (メッキ付)

用途：花卉、ほうれん草等

開からサブグリッブを 回す角度	噴角 (°)	噴口からの距離 (m)					
		1	2	3	4	5	6
0° (開・中空円錐)	55	◎	◎	○	×	×	×
90° (中実円錐)	40	○	◎	○	○	×	×
180° (中実円錐)	15	◎	◎	◎	○	△	×
270° (中実円錐)	5	○	◎	◎	○	△	×
360° (中実円錐)	5	◎	◎	◎	○	△	×
450° (直)	5	◎	◎	◎	○	△	×

中実円錐



直



噴板φ2.0 ノズルコア大 (メッキ無)

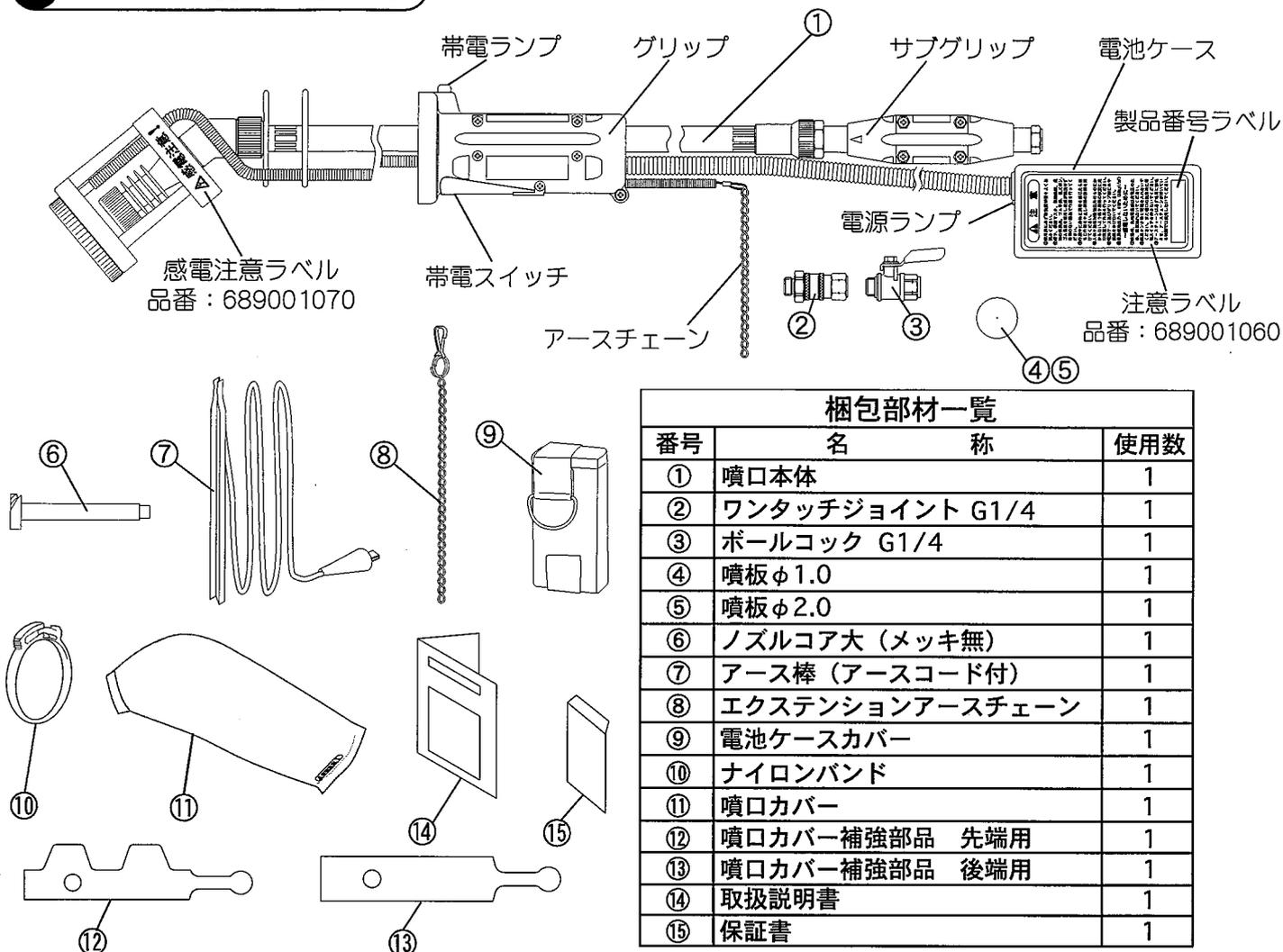
用途：平面作物、果樹等

開からサブグリッブを 回す角度	噴角 (°)	噴口からの距離 (m)					
		1	2	3	4	5	6
0° (開・中空円錐)	65	◎	○	○	○	△	×
90° (中実円錐)	60	○	○	○	○	△	△
180° (中実円錐)	55	○	◎	◎	○	○	△
270° (中実円錐)	25	◎	◎	◎	○	○	△
360° (中実円錐)	20	○	◎	◎	○	○	△
450° (直)	15	○	◎	○	○	○	△

※噴口入り口圧力2.0MPaにて実験。

※当社テストの結果です。使用環境により変化します。

5 梱包部品一覧及び各部名称



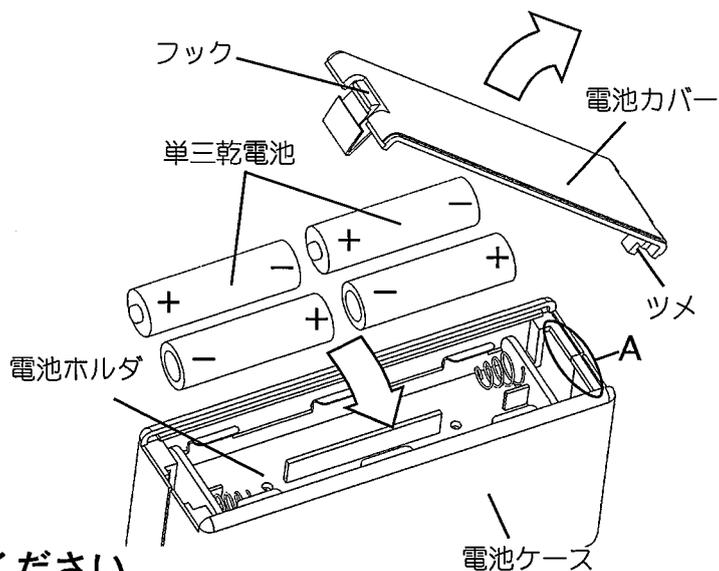
※最初に梱包部品が全部そろっているかどうか、輸送中の事故で破損している部品がないかを確認してください。もしも、欠品または破損などがありましたら、製品名・型式・製品番号と共にお買い上げの販売店にお知らせください。

※保証書はお客様が保証修理を受けられる際に必要となる物です。お読みになった後は大切に保管してください。
 ※注意ラベルや感電注意ラベルが汚損したり、はがれたりした場合はお買い上げの販売店にご注文いただき必ず所定の位置にお貼りください。

6 使用方法

6.1 乾電池の入れ方

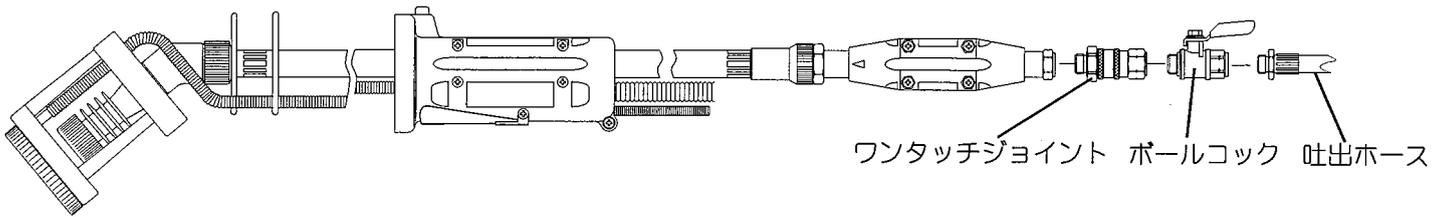
- ①電池カバーのフックを押さえて、電池カバーを矢印の方向へ外してください。
- ②単三乾電池4本を、電池ホルダに、図のような向きで入れてください。
- ③乾電池を入れた後、電池カバーのツメをA部に引っ掛け、電池カバーを取り付けてください。
- ④電池カバーが外れない事を確認してください。
- ⑤帯電スイッチを押し、電源ランプが点灯する事を確認してください。
- ⑥電池ケースを電池ケースカバーに入れ、ベルトに通してお使いください。



※単三乾電池はアルカリ電池を使用してください。
 ※単三乾電池は付属しておりませんので、別途ご購入ください。

6.2 ホースの接続

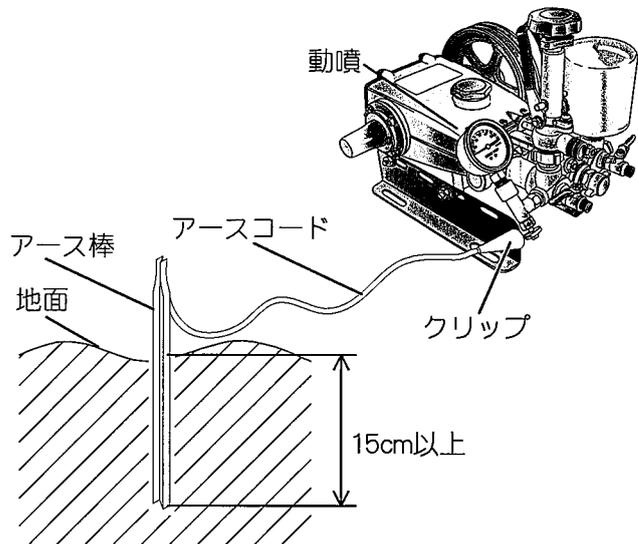
本製品に付属のワンタッチジョイント、ボールコックと動噴からのホースを、確実に取り付けてください。



注意 ※作業前に接続部のパッキンに脱落のないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等、各部に異常のないことを確認してください。

6.3 アース棒の接続

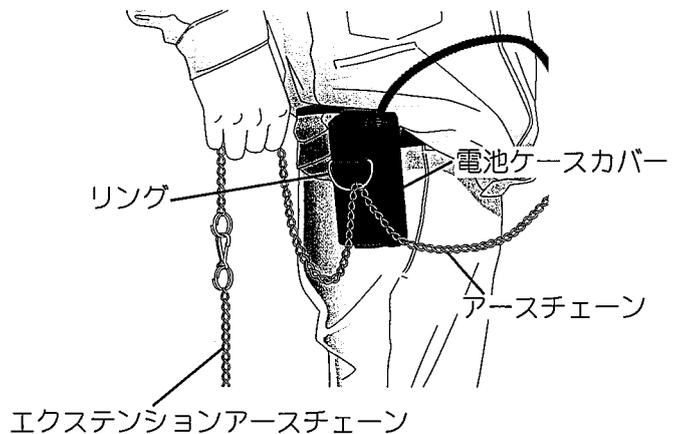
アース棒は、アースチェーンの接地が悪い状態、または絶縁性の高いシートの上で使用する場合でも、感電ショックを受けないように、アースチェーンを補助する物です。アースコード先端のクリップを動噴の塗装していない金属部分に接続し、アース棒を地面に15cm以上差し込んでください。



6.4 アースチェーンの取り回し

本製品は静電気力により作物への付着を良くしており、帯電した霧が一番近くの物に引っ張られます。従いまして霧の近くに人がいた場合、従来の噴口よりも農薬を被曝する恐れがありますので、後退散布での使用をお勧めします。

また前進散布で使用する場合は、アースチェーンを踏む恐れがありますので、電池ケースカバーに付いているリングにアースチェーンを通し、アースチェーンにエクステンションアースチェーンを接続してください。また電池ケースカバーが体の側面に来るようにするとチェーンを踏みにくく、作業しやすくなります。



安全作業の服装

- ・農薬の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。

◇作業の前に



●心臓ペースメーカーやICD（植込み型除細動器）が誤作動を起こす可能性がありますので、ペースメーカー等をご使用の方は絶対に使用しないでください。また本製品使用中に製品に近づかないでください。

! 注意

- ・次に該当する方は、この製品を使用しないでください。
 - ◇酒気をおびた人
 - ◇過労、病気、薬物（農薬を含む）の影響その他の理由により正常な防除作業ができない人
 - ◇妊娠中の人
 - ◇15歳未満の人
 - ◇負傷中の人、生理中の女性等農薬による影響を受けやすい人
- ・作業前に接続部のパッキンに脱落のないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等、各部に異常のないことを確認してください。
- ・安全性を損なう恐れがありますので、改造しないでください。
- ・この製品を他人に貸与または譲渡する場合は必ず取扱説明書を添付し、良く読んでから使用するよう指導してください。

◇農薬・薬液の取り扱い

! 注意

- ・防除、除草用の農園芸用薬品の散布、散水用途以外には使用しないでください。
- ・やけど、火災の恐れがありますので、強酸性の薬品・塗料・シンナー・ガソリン・灯油・ベンジン等は絶対に使用しないでください。またこれらの入っている容器内に電極部等を入れしないでください。
- ・調合が適切でない薬液は、作物を傷めるだけでなく人体にも有害になる恐れがあります。薬液の調合の際は、農薬の使用上の注意をよく読み、正しく希釈してから使用してください。
- ・農薬は必ず専用の保管箱に鍵をかけて保管し、絶対に食品や食器とは一緒に保管しないでください。
- ・誤使用、誤飲の危険がありますので、農薬は絶対に別の容器に移し替えないでください。
- ・農薬の空容器は、散布液調合時に必ずよく洗い、薬品メーカーの指示に従って、その都度正しく処分してください。空容器を洗った水は薬害のない方法で処分してください。

6.5 噴口先端部分を回し、作物等に合わせて角度を調節してください。

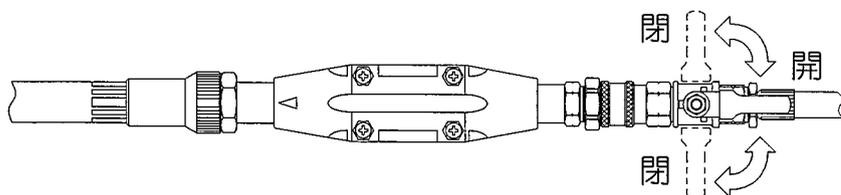


●帯電スイッチを押した状態で噴口先端部分に触れないでください。軽い感電ショックを起こす場合があります。

●サブグリップを広角側（右側）にいっぱいまで回した状態では角度調節ができませんので、若干直射側（左側）に回してから、角度を調節してください。

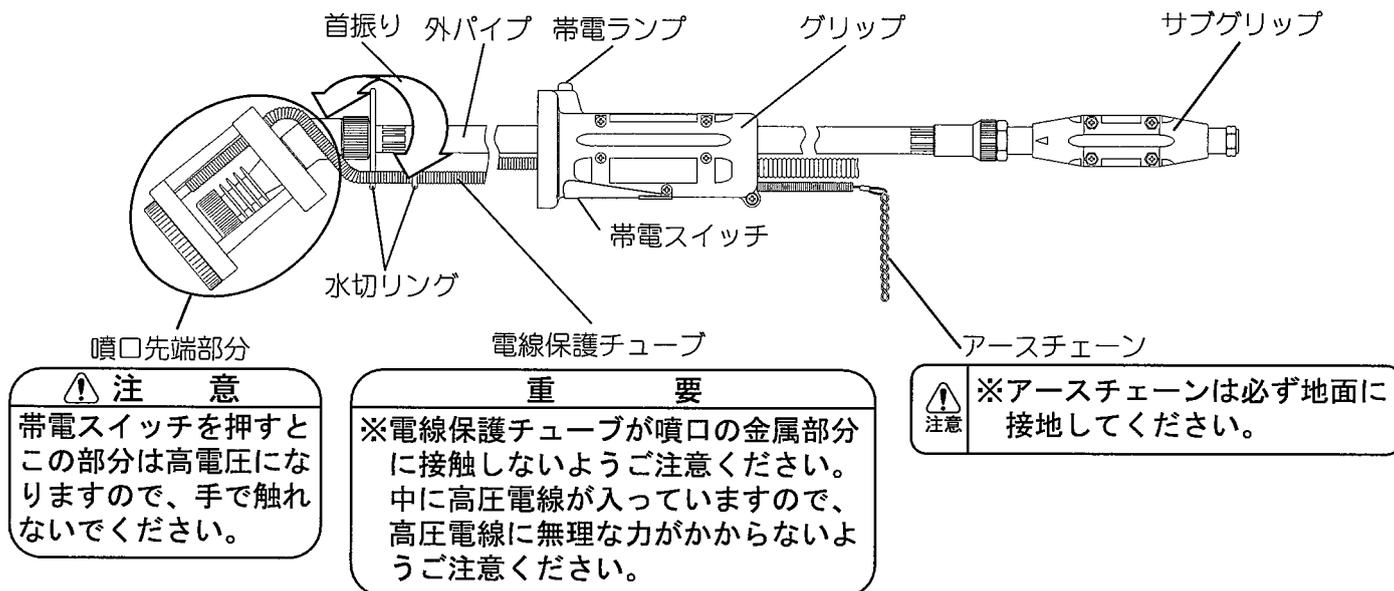
重要 ●電線保護チューブの内部には電線が入っていますので、電線に無理な力がかからないようご注意ください。

6.6 動噴を作動させ、ボールコックを開にしてください。



ボールコックを開のまま送液すると突然薬液が出て危険です。手元のボールコックを閉の状態にしてから薬液を送ってください。

6.7 グリップと共に帯電スイッチを握って頂くと霧が帯電します。またスイッチを離すと帯電はストップします。電池が消耗すると、電源ランプが暗くなり、また消灯しますので電池を交換してください。当社テストでの連続使用時間は約7時間です。



帯電中は帯電ランプが点灯します。電源ランプ及び帯電ランプの表示は以下の通りです。

1) 電源ランプ

電源ランプは通常使用中は点灯し、電池の残量が残り少なくなった際に消灯してお客さまへ電池の交換時期をお知らせするランプです。

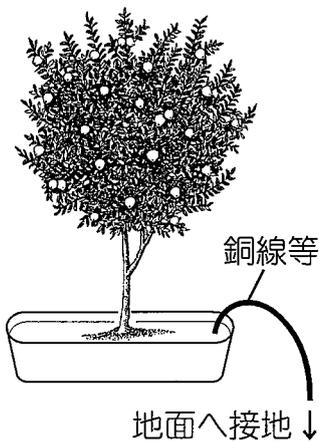
2) 帯電ランプ

帯電ランプは通常高電圧が発生している状態では点灯しますが、展着剤の使用などで水滴が膜状に広がり、高電圧が発生しなくなった際に消灯し、メンテナンスの時期をお知らせするランプです。

※メンテナンスの詳細は下記点灯消灯の状態、または【9 故障と対策】をお読みください。

この2種類のランプの点灯、及び消灯は以下の状態を表します。

電源ランプ	帯電ランプ	状態	処置
 点灯	 点灯		通常使用状態です。
 点灯	 消灯		展着剤の使用等で水滴が膜状に広がり高電圧が発生しない、または噴口先端部が作物等に接触し高電圧が発生しない状態になっています。噴口を振って付着している水滴を払い落とす、または噴口先端部を作物等から離してください。それでも帯電ランプがつかない場合は噴口先端部分、水切リング、外パイプを清水にてすすぎ、タオル等で農薬・水滴等をきれいに拭き取ってください。
 消灯	 点灯		先端に高電圧が発生していますが、電池の残量が残り少ない状態になっています。電池の交換を行いご使用ください。
 消灯	 消灯		電池が残量がありません。電池を交換してご使用ください。電池を交換してもランプが点灯しない場合は販売店にご相談ください。



※散布対象物がプラスチックの台の上に置いてある場合や、プラスチックの容器に入っている場合等、散布対象物が地面から絶縁されている場合は帯電の効果が下がります。その場合は容器の中の土等に銅線等を差込み、反対側を地面に接地してください。



●心臓ペースメーカーやICD（植込み型除細動器）が誤作動を起こす可能性がありますので、ペースメーカー等をご使用の方は絶対に使用しないでください。また本製品使用中に製品に近づかないでください。



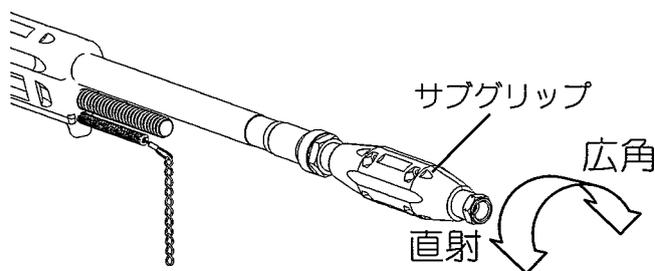
注意

- 帯電スイッチを押すと噴霧していない状態でも噴口先端部分の電極が高電圧になりますので、手を触れないでください。軽い感電ショックを受ける恐れがあります。
- 本製品は両手での使用を前提としております。グリップ及びサブグリップを握ってご使用ください。電線保護チューブ等に付いた薬液等に触れると軽い感電ショックを起こす事があります。
- アースチェーンを必ず地面に接地し、アースチェーンが空中に浮いた状態では使用しないでください。アースチェーンが接地していない状態で外パイプや金属部分に触れると軽い感電ショックを受ける恐れがあります。また霧への帯電が低下する事があります。
- 帯電スイッチを押した状態で薬液タンク等に電極部を入れしないでください。感電ショックや機器が故障する恐れがあります。

重要

- グリップ及び電池ケース内部には電気部品が入っていますので直接水や薬液をかけないでください。
- 電極ホルダや電線保護チューブに付着した水滴により、電極の電圧が低下し、霧への帯電が弱くなる場合があります。その際は電極ホルダ等に付着した水滴を払い落としてください。また電線保護チューブが噴口の金属部分に接触しないようご注意ください。

- 6.8 サブグリップを徐々に回してください。右に回すと噴角が直射→広角噴霧に変化します。左に回すと噴角が広角→直射噴霧に変化します。好みの霧の状態でご使用ください。
- ※噴角により、付着度は変化します。付着度に関しては【④ 噴口からの距離による、葉裏面への付着度の違い】を参照してください。
- ※霧が電極に当たると電極部の電圧が低下する事がありますので、霧が当たらない位置でご使用ください。



注意

- 散布するときは周囲の状況を充分確認してください。作業中以外はボールコックを閉の状態にしておいてください。
- 作業中、作業後にめまい、頭痛を生じ、また気分が少しでも悪くなった場合には直ちに医師の診察を受けてください。
- 作業中に噴口を清掃または交換する場合は、顔面等に薬液がかかる恐れがありますので、必ず動噴の調圧弁の圧力設定をゼロにしてから動噴の吐出コックを閉じるなど、吐出ホースから薬液がでないよう注意して噴口を取り外してください。また清掃の際帯電スイッチには触れないでください。
- 本製品は静電気力により作物への付着を良くしており、帯電した霧は一番近くの物に引っ張られます。従いまして霧の近くに人がいた場合、従来の噴口よりも農薬を被曝する恐れがありますので、後退散布での使用をお勧めします。

◇作業中

警告

- ・農薬の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
- ・農薬中毒の危険がありますので、ハウス内では必ず換気を行いながら作業してください。



安全作業のための服装

注意

- ・水道、河川、池、沼などを汚染しないように、また、人体や散布対象物以外のものにかからないよう風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。
- ・作業中、作業後にめまい、頭痛を生じ、または気分が少しでも悪くなった場合には直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。
- ・作業中に噴口を清掃または交換する場合は、顔面などに薬液がかかるおそれがありますので、動噴の調圧弁の圧力設定をゼロにしてから止め、動噴の吐出コックを閉じる等、ホースから薬液が出ないように注意して噴口を取り外してください。

◇感電ショックを受けないために

注意

- ・帯電スイッチを押しますと噴口先端部が高電圧になりますので手で触れないよう、人に当たらないように注意してください。また電線保護チューブを伝わった水により軽い感電ショックを受ける場合がありますので触れないようご注意ください。
- ・噴口カバー装着時に帯電スイッチを押しますと、噴口カバーに水滴が付着した部分が高電圧になりますので触れないように注意してください。
- ・薬液タンク等に先端電極部を入れしないでください。また噴口の洗浄時に帯電スイッチを押さないでください。
- ・アースチェーンは必ず地面に接地させ、アースチェーンが浮いている状態では使用しないでください。動噴には必ずアース棒を接続してください。

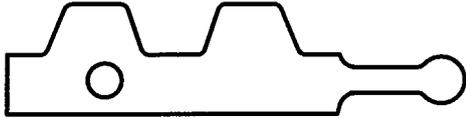
6.9 噴口カバーの使用法

お客様が静電噴口をより効果的に使用していただくために、作業前に噴口カバーを取り付けてください。（※噴霧作業中に水滴が膜状に広がり、電極ホルダ等の絶縁性が低下して高電圧が発生しなくなる場合があります。）

噴口カバーを取り付ける事により、電極ホルダ等の絶縁性を確保し安定して帯電させる事ができます。
※とくに展着剤を含む農薬をご使用の場合には噴口カバーを必ず装着してください。

1) 噴口カバー補強部品の取付

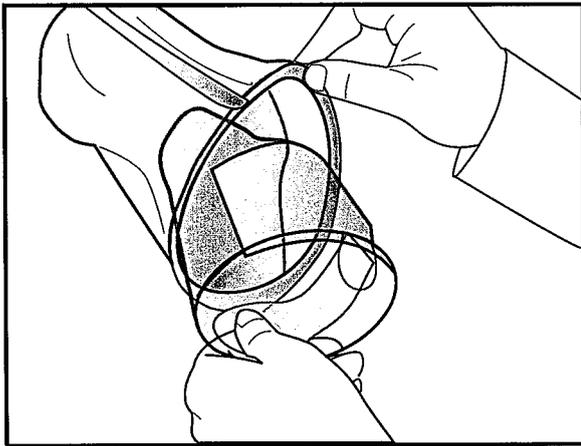
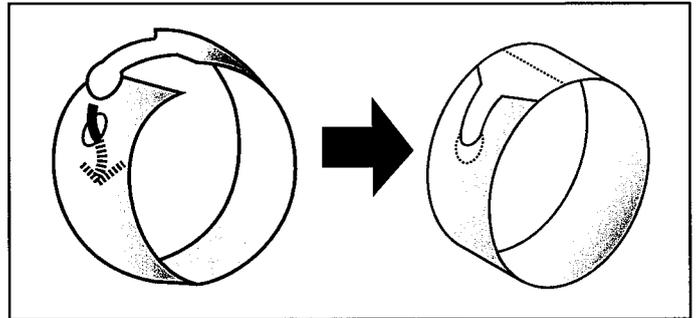
補強部品 先端用



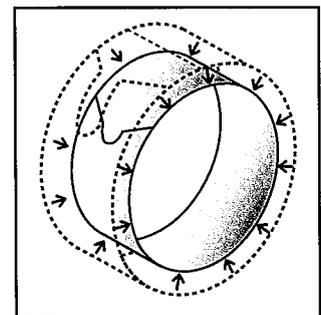
補強部品 後端用



- ①板状になっている補強部品を円筒状に組み立てます。
先端が丸型になっている部分を板状の丸穴に上側から入れてください。
後端用も同様に組み立てます。

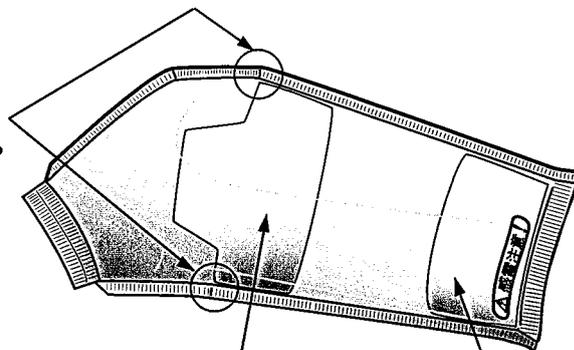


- ②円筒状に固定した先端用補強部品は、2つの山型が噴口カバー開口部の狭い口側に向くようにして、噴口カバー開口部の広い口側から噴口カバー内部へ入れます。
この時、円筒状になった補強部品をより小さい円筒状に保った状態のまま入れると、入れやすくなります。



- ③先端用と後端用が図の位置になるように取り付けてください。

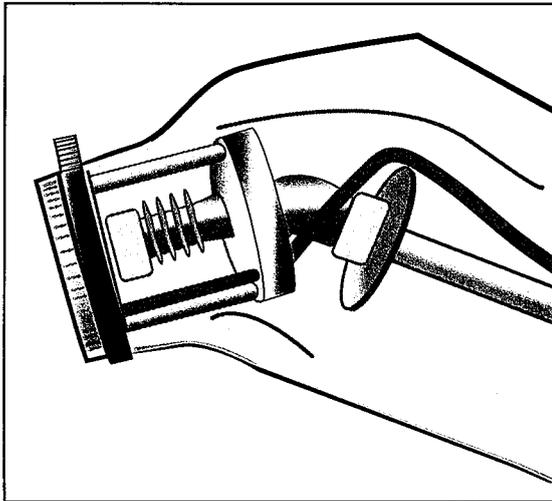
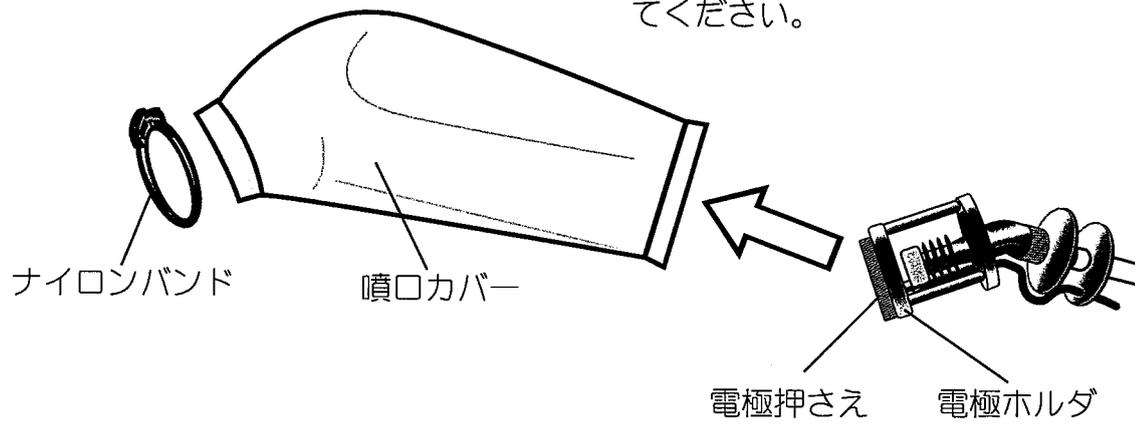
注意)
カバーの折り目に
合わせてください。



補強部品 先端用 補強部品 後端用

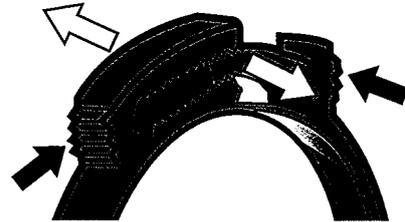
2) 噴口カバーの取付

①噴口カバー開口部の広い口側から噴口を入れてください。



②噴霧が噴口カバーに当たらないようにします。まず噴口を奥まで差し込みます。噴口の先端（電極押さえの先端）と噴口カバーの先端を端面で揃えます。噴口カバーと噴口を固定します。この時、固定位置は電極ホルダの三角形の外周部分になるようにしてください。

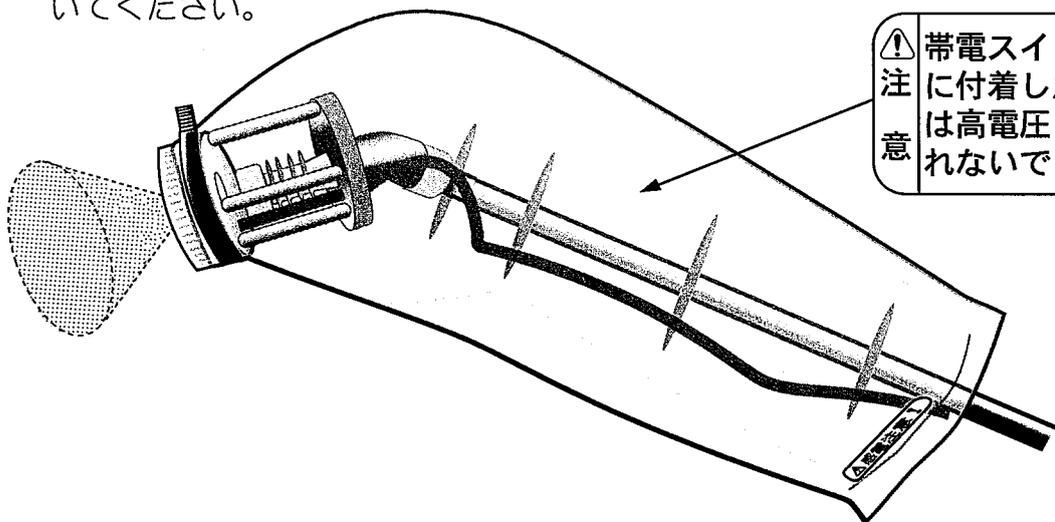
ナイロンバンドは手で締めてください。ナイロンバンドは黒い矢印の方向で締め、白い矢印の方向にスライドさせると外れます。



注意 ※900mmタイプには900mm用の噴口カバーをお使いください。900mm用以外の噴口カバーを使用した場合、感電の恐れがあります。

3) 使用方法

噴口カバーを付けた状態で噴霧してください。噴口カバーの内側や電極ホルダ等に展着剤等が付着した場合は、噴口カバーを取り外して噴口カバーや電極ホルダ等を清水で洗い、タオル等で拭いてください。



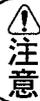
注意 帯電スイッチを押すと噴口カバーに付着した水滴により噴口カバーは高電圧になりますので、手を触れないでください。

注意 ・ハウス内など高温となる環境下では、噴口カバーが変形する恐れがあります。
・使用後は充分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子どもの手が届かない場所に保管してください。（プラスチック部品は直射日光に長時間さらされると、著しく強度が低下する場合があります。）

8 使用後の手入れと保管

8.1 噴口を外すとき

ボールコックを閉じ、動噴を止めてから、噴口を外します。



●吐出ホース内に圧力が残っていると薬液が噴出し危険です。噴口を散布状態にして下に向け、ボールコックを開いて吐出ホース内に残っている圧力を抜いてから外してください。

8.2 各部の洗浄

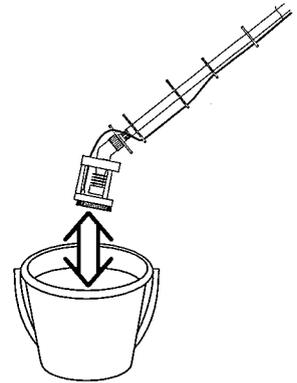
噴口先端部分、外パイプ、水切リング、電線保護チューブ、噴口内部を洗浄します。清水にて洗浄してください。洗浄後は水抜きをしてください。

重要

●グリップ及び電池ケース内部には電気部品が入っていますので、水がかからないようご注意ください。



●余った薬液及び機械の洗浄水は河川、水源地、下水等に流入して被害をおよぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。



8.3 保管の仕方



- 洗浄後、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 保管時には乾電池を取り外しておく事をお勧めします。乾電池を入れたまま保管すると、乾電池電極部やスイッチ等が腐食する事があります。また帯電スイッチが押されて高電圧となり、感電ショックを受ける恐れがあります。

注意

- ・噴口を外す時、吐出ホース内に圧力が残っていると薬液が噴出します。吐出ホース内に残った圧力を抜いてからはずしてください。
- ・余った薬液及び機械の洗浄水は、河川、水源地、池、沼、下水等に流入して被害をおよぼさない方法で処分してください。
- ・前回使用した薬液が、ホース、噴口等の内部に残っていると、薬害をおこす危険性があります。特に除草剤散布に使用した後、一般防除作業に使用する場合は、除草剤が残らぬよう充分洗い流してください。洗浄が充分でないとホース、噴口に付着した除草剤で植物が枯れることがあります。
- ・使用後は噴口先端部と噴口内部を充分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず、風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・作業後は手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うと共に、目の水洗いと、うがいをしてください。また作業中は衣服を毎日取り替えてください。

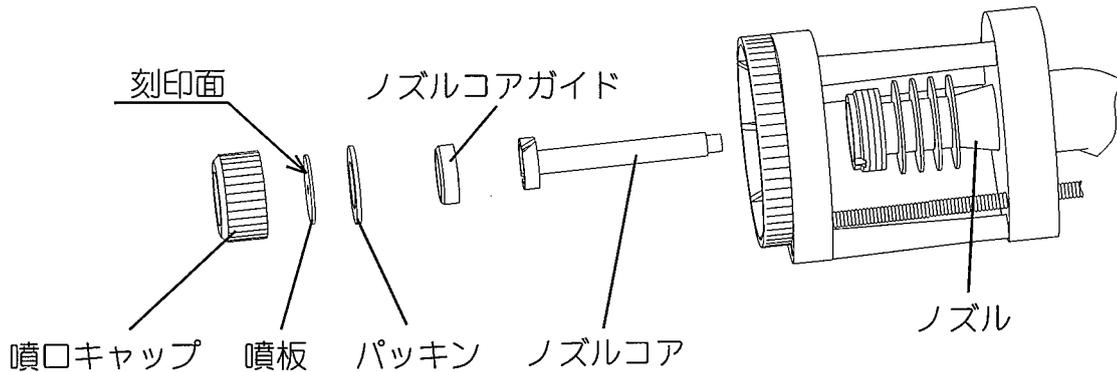
◇感電ショックを受けないために

注意

- ・帯電スイッチを押しますと噴口先端部が高電圧になりますので手で触れないよう、人に当たらないように注意してください。また電線保護チューブを伝った水により軽い感電ショックを受ける場合がありますので触れないようご注意ください。
- ・噴口カバー装着時に帯電スイッチを押しますと、噴口カバーに水滴が付着した部分が高電圧になりますので触れないように注意してください。
- ・薬液タンク等に先端電極部を入れないでください。また噴口の洗浄時に帯電スイッチを押さないでください。
- ・アースチェーンは必ず地面に接地させ、アースチェーンが浮いている状態では使用しないでください。動噴には必ずアース棒を接続してください。

8 噴板・ノズルコアの交換

- ① 噴口キャップをプライヤで緩め、ノズルから外します。
- ② 噴口キャップから噴板とパッキンを外します。
- ③ 散布対象物に合わせて噴板、ノズルコアを交換します。
※噴板・ノズルコアの吐出量に関しては【3 仕様】を参照してください。また用途、付着度に関しては【4 噴口からの距離による、葉裏面への付着度の違い】を参照してください。
※ノズルコアガイドは2種類のノズルコアに共通で使用します。組み付け忘れない様にご注意ください。
- ④ 噴口キャップに、刻印面が外側になるように噴板を入れ、②で外したパッキンを入れます。
- ⑤ 噴口キャップをノズルに組み付け、プライヤで締め付けます。
※プライヤは付属していませんので別途ご購入ください。



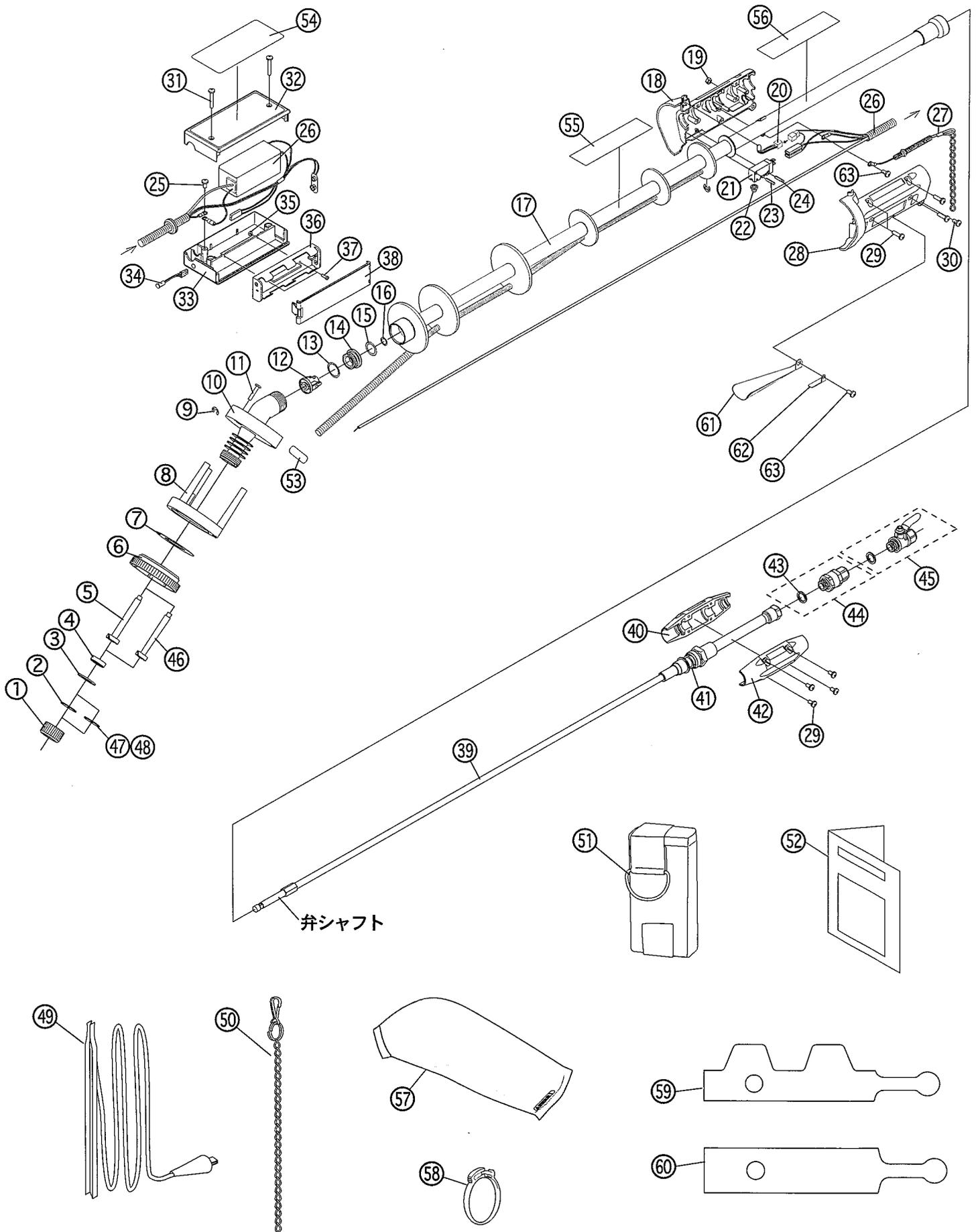
9 故障と対策

現象		原因	処置	
霧が均一でない		ゴミ詰まり	噴板(2, 47, 48), ノズルコア(5, 46)を洗浄する	
		噴板の摩耗	噴板(2, 47, 48)を交換する	
		ノズルコアの摩耗	ノズルコア(5, 46)を交換する	
霧が荒い 噴霧はするが異常である		動噴の吐出量不足	動噴の圧力を上げる	
		噴板の摩耗	噴板(2, 47, 48)を交換する	
		ノズルコアの摩耗	ノズルコア(5, 46)を交換する	
		配管のつまり	販売店にご相談ください	
各接続部のネジの緩み		ネジを増し締めする。		
グリップからの液漏れ		Xリングの摩耗	Xリング(16)を交換する	
本体接続部からの液漏れ		本体の締め付け不足	ノズル(10)と外パイプ一式(17)を増し締めする	
ランプ が点灯 しない	電源ランプ ×	帯電ランプ ×	電池を逆に入れていないか 消耗している*	電池を正しい方向に入れ直す 電池を交換する
	×	○	電池の消耗*	電池を交換する
	○	×	電源ランプ・配線の異常	販売店にご相談ください
		高電圧が発生していない*	電極ホルダ及び噴口カバー内側に付着している水を払う	
		高圧回路・配線・帯電ランプの異常	販売店にご相談ください	
霧が帯電していない		アースができていない*	アースチェーンを地面に接触させ、アースコードを動噴にきちんと接続し、アース棒を地面に差し込む	

※処置欄の番号はパーツリストを参照してください。

※原因欄に*のついたものは、本文を参照してください。その他ご不明の点はお買い上げの販売店にご相談ください。

10 パーツリスト



記号	品名	数量	記号	品名	数量	記号	品名	数量
1	噴口キャップ	1	23	ロールピン 3×16	1	44	ワッパジ ヨイント G1/4	1
2	噴板 φ1.5	1	24	ロールピン 3×14	1	45	ボールコック G1/4	1
3	パッキン 27×10×2.0	1	25	十字穴付タビソネジ 4×8	1	46	ノズルコア大 (メッキ無)	1
4	ノズルコアガイド	1	26-1	コンパクターハーネス一式 1200mm用	1	47	噴板φ1.0	1
5	ノズルコア小(メッキ付)	1	26-2	コンパクターハーネス一式 900mm用	1	48	噴板φ2.0	1
6	電極押さえ	1	27	アースチェーン	1	49	アース棒 (7-スコッド付)	1
7	電極板	1	28	グリップ (カバー側)	1	50	エクステンションアースチェーン	1
8	電極ホルダ	1	29	十字穴付タビソネジ 4×14	8	51	電池ケースカバー	1
9	Eリング φ15	2	30	十字穴付六角小ネジ M4×6	1	52	取扱説明書 (本紙)	1
10	ノズル	1	31	十字穴付タビソネジ 4×25	2	53	感電注意ラベル	3
11	タビソネジ 4×20 SUS	3	32	電池ケース (カバー側)	1	54	注意ラベル	1
12	バルブ	1	33	電池ケース (ケース側)	1	55	ネームラベル	1
13	Oリング JASO-2017-1A	1	34	電源ランプ (LEDハーネス付)	1	56-1	型式ラベル 1200mm用	1
14	Oリング受け	1	35	六角ナットM2.5	1	56-2	型式ラベル 900mm用	1
15	Oリング JASO-1016-1A	1	36	電池ホルダ	1	57-1	噴口カバー 1200mm用	1
16	Xリング X012A	1	37	十字穴付六角小ネジ M2.5×6	2	57-2	噴口カバー 900mm用	1
17-1	外パイプ一式 1200mm用	1	38	電池カバー	1	58	ナイロンバンド	1
17-2	外パイプ一式 900mm用	1	39-1	中パイプ 1200mm用	1	59	噴口カバー補強部品 先端用	1
18	グリップ (ケース側)	1	39-2	中パイプ 900mm用	1	60	噴口カバー補強部品 後端用	1
19	六角ナットM4	1	40	握りφ12.7 φ3.1	1	61	スイッチレバー	1
20	帯電ランプ (LEDハーネス付)	1	41	ワッシャ 18.7×12.7	1	62	スイッチレバーサポート	1
21	スイッチ	1	42	握りφ12.7	1	63	十字穴付タビソネジ 4×10	2
22	スイッチカバー	1	43	パッキン15.5×11.5×1.5	2			

※弁シャフト部はシール面になっています。整備の際は傷つけないようご注意ください。

※17~37を交換する際は組立に専門知識が必要ですので販売店にご相談ください。

※その他ご不明な点は販売店にお問い合わせください。